

基本方針

「社会福祉法人いたみ杉の子」は、伊丹市在住の知的障がいのある児者の保護者組織である「伊丹市手をつなぐ育成会」を母体に伊丹市行政の協力を得て設立した社会福祉法人として、これからも障がいのある人の豊かな地域生活と自己実現に向けた支援を国、県、市の障害者福祉施策に添って実施してまいります。特に今年度は「第5期経営計画（2023～2027年度）」の3年目として、より本法人の特色を活かした事業の展開を推進していきます。

まず、今年度は、障がいのある人の「権利擁護」を基本に権利侵害や虐待のない事業所運営に努めるとともに、障害福祉サービス事業においては、従前に引き続き重度・高齢化対応を充実、増えつつある発達障がい児者への支援、強度行動障害や自閉症の方への適切な支援など、多様なニーズやケースへの対応力の向上と支援環境の整備等をおこないます。また、障がいのある人の地域生活支援においては、伊丹市障害福祉計画の重点事項の1つである「地域生活支援拠点事業」の一翼を担う他、同じく昨年度、受託事業となった「伊丹市障害者夜間休日緊急相談支援業務」と合わせて市と協働した事業を推進します。さらに、今年度10月より始まる新たな障害福祉サービス「就労選択支援」を実施するとともに、来年度からは「就労継続支援B型」を含めた新たな就労支援拠点の開設に向けた準備を進めます。加えて、今年度より「宝塚市障害者就労支援センター」を受託し、すでに国・県から受託している「阪神北障害者就業・生活支援センター」と併せ、本法人における就労支援体制をより充実させていきます。

次に本法人の事業基盤である人材の確保と育成については、昨年度に引き続き、多様な雇用形態の設定や働きやすい職場環境づくり、給与のベースアップ等による処遇改善などを進めるとともに本法人で働くことの魅力を発信し必要な人員や職種を確保してまいります。

また、財務状況については、昨年度以降、障害福祉サービス事業収入が伸び悩んでいることから、新たな利用者の確保と加算等の活用により収入増を図るとともに支援業務におけるICT化や業務の効率化を図るなど、経常経費の節減に努めていきます。加えて、今日の喫急の対応を求められている大規模災害については、BCP作成とともに訓練や備蓄等、災害対応力の強化を図っていきます。最後に、今後の法人の維持発展を目指した経営体制については、今年度、役員、評議員の改選年度であることから、法人の現状と課題を踏まえた役員等の体制を整えるとともに、経験豊かな人材の活用による管理職配置をしていきます。併せて、法人組織構成においても各事業所の連携とチームケア体制を強化し、事業の効率化を図るとともに、職員の企画力の向上とマネジメント力の育成を図ります。あわせて、財務等を担う総務部門の機能強化を図り、将来を見据えた経営体制の構築を進めていきます。